

平成 29 年 6 月

平成 29 年度文部科学省補助事業

『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』研修会 実施要項

【目 的】

近年、我が国の青少年の抱える健康課題が多様化、深刻化する中で、未成年者による喫煙や飲酒ならびに薬物乱用も課題の一つであり、とりわけ薬物乱用においては、危険ドラッグの登場や、他の薬物乱用者が減少傾向にある一方で、向精神薬の乱用が増加傾向であることから学校等における指導・教育のさらなる充実強化が求められている。日本学校保健会では文部科学省の補助を受け、平成 20 年から平成 21 年にかけての学習指導要領改訂に基づき『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を改訂、全国の学校へ配付した。平成 25 年 8 月 7 日に薬物乱用対策推進会議（議長：内閣府特命担当大臣）において「第四次薬物乱用防止五か年戦略」が決定したことを踏まえ、『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を有効に活用できるよう本研修会を実施する。

主催：公益財団法人日本学校保健会

共催：長崎県学校保健会 長崎県教育委員会

1 日 時：平成 29 年 6 月 28 日（水）開場 12 時 開演 13 時 00 分 終了 16 時 30 分

2 会 場：長崎ブリックホール 国際会議場（長崎県長崎市茂里町 2-38）

3 参加対象：学校教育関係者等（管理職、教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者）、警察関係者（薬物乱用防止担当等）、その他

4 参加費：無料

5 募集定員：500 人（申込先着順、定員になり次第締切）

6 内 容：（仮題）

（1）趣旨説明

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 小出 彰宏

（2）講義 1 これからの喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方

東京薬科大学薬学部 教授 北垣邦彦（前文部科学省学校健康教育課健康教育調査官）

（3）講義 2 身近に迫る薬物乱用

元東京薬科大学薬学部 特任教授 加藤哲太

（4）実践発表 今求められる喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育～指導参考資料を基盤にして～

公益財団法人 日本学校保健会 事務局長 並木 茂夫

12:00 13:00 13:10 13:40 14:30 14:40 15:30 16:20 16:30

開場	開会	趣旨説明	講義 1	休憩	講義 2	実践発表	質疑応答
----	----	------	------	----	------	------	------

7 参加申込方法：日本学校保健会運営ポータルサイト「学校保健」より申込